

令和7年度事務事業評価（令和6年度事後評価）

経済部

所属名	事務事業名	
経済政策課	プレミアム付電子地域振興券発行事業	2
経済政策課	D X 推進支援事業	3
経済政策課	伝統産業事業者支援事業	4
経済政策課	労政情報発信事業	5
経済政策課	勤労者福利厚生対策事業	6
経済政策課	労働金庫預託事業	7
経済政策課	各種商工業団体等支援事業	8
経済政策課	商工会議所支援事業	9
経済政策課	商工会支援事業	10
経済政策課	小規模事業者伴走型支援強化事業	11
経済政策課	事業承継支援事業	12
経済政策課	産業支援プラザ管理運営事業	13
経済政策課	産業人材確保推進事業	14
経済政策課	起業家育成支援事業	15
経済政策課	創業資金支援事業	16
経済政策課	販路開拓支援事業	17
経済政策課	「地域ブランド商品」振興事業	18
経済政策課	諸富家具団体等支援事業	19
経済政策課	佐賀錦振興事業	20
経済政策課	売茶翁情報発信事業	21
経済政策課	地場産品交流会館管理事業	22
経済政策課	産業振興会館管理運営事業	23
経済政策課	中小企業振興資金貸付事業	24
経済政策課	商工中金預託事業	25
経済政策課	同和金融対策事業	26
経済政策課	佐賀駅周辺整備事業	27

令和7年度 事務事業実績報告シート

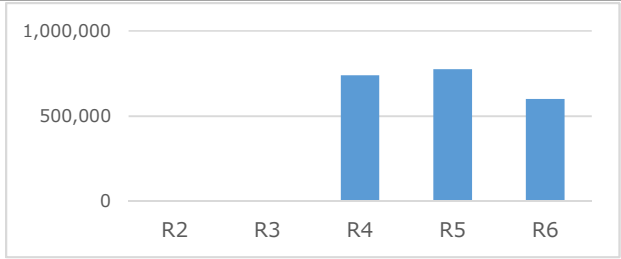
事務事業名	プレミアム付電子地域振興券発行事業	事業期間	令和 4 ~ 令和 6 年度
担当部署・係名	経済政策課 経営支援係	担当課長名	富永 誠一
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	活力ある商工業の振興	
	基本事業	既存商工業の経営支援	

1 事務事業の基本情報

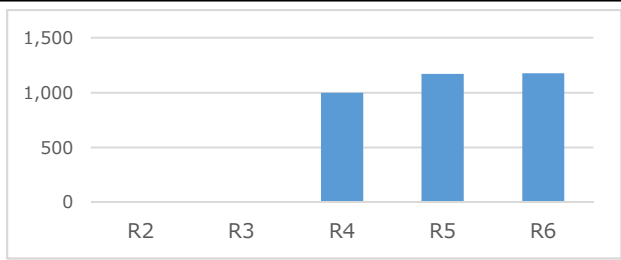
事業概要・目的	プレミアム付電子地域振興券「がばいサカえるPay（第3弾）」を発行することにより、物価高騰に直面する事業者を支援し、地域経済の回復と立て直しを図る。また、デジタル・デバйд対策として、高齢者のスマホ購入支援や相談窓口の設置を行い、事業者や市民のデジタル化の推進を図る。 ・プレミアム率 25% ・発行総額 6億円（5,000円×120,000/口・冊） ・利用期間 令和6年6月1日（土）～9月30日（月） ・参加店舗数 1,178店舗（飲食523、その他655）				
事業の対象者	市民及び市内中小企業者				
根拠法令等					
決算額の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業費総額			213,483	254,009	201,117
うち佐賀市の負担額			71,580	206,099	36,593

2 事業の活動実績

活動実績①					単位
発行総額					千円
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	
		740,000	775,000	600,000	



活動実績②					単位
参加店舗数					店舗
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	
		1,000	1,174	1,178	



3 活動実績の推移に関する分析及び今後の見込み

物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、プレミアム付電子地域振興券「がばいサカえるPay（第3弾）」を発行した。
 令和6年度は初めて電子のみで実施し、多様なデジタル・デバйд対策を講じ、地域のキャッシュレス決済の普及を推進した。

令和7年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	DX推進支援事業		事業期間	令和 4 ~	年度
担当部署・係名	経済政策課 経済政策係		担当課長名	富永 誠一	
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち			
	施策	活力ある商工業の振興			
	基本事業	既存商工業の経営支援			

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	市内中小企業の生産性向上を目指して、DX計画の策定やツール導入を支援し、先進的な取組の事例を生み出すことで、市内企業全体への波及を図る。これにより、事業活動の活性化や雇用創出を促進し、市内経済の発展につなげることを目的とする。				
事業の対象者	市内中小企業				
令和6年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル技術導入支援事業 17件 生産性向上を目的として、業務効率化につながるデジタル技術の導入費用を一部補助し、事業活動の推進を支援した。 ・DX体制整備事業 6件 伴走支援事業者が事業者に対し、ヒアリングや業務フローの見える化をすることによって、現状分析や課題の洗い出しを行い、社内のDX推進体制を整備しDXマインドの醸成を図りつつ、DX計画を策定した。 ・DX導入支援事業 10件 DX計画に基づくデジタル技術導入の取組に関する事業を実施した。 				
決算の推移 (単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額			8,065	30,654	45,711
うち佐賀市の負担額			75	0	640

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
DX計画策定件数						件
R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	目標	実績
			3	5	7	
			3	10	6	

成果指標②						単位
DX計画の推進による課題解決数						件
R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	目標	実績
			21	24	27	
			24	67	42	

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	伴走支援を通じて策定されたDX計画によって多くの課題が解決できる見込みである。また、情報リテラシーが向上し、DXマインドの醸成もされていることから、十分な成果を果たしていると判断できる。



今後の改善策、対応策等
事業者自身がニーズに合った支援事業者を自由に選定できるようにすることで、より柔軟かつ主体的なDX推進を支援する。引き続き、DX計画の策定を通じて課題の可視化と解決を図り、市内事業者全体のDX推進を後押ししていく。

令和7年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	伝統産業事業者支援事業	事業期間	令和 5 ~ 令和 6 年度
担当部署・係名	経済政策課 経営支援係	担当課長名	富永 誠一
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	活力ある商工業の振興	
	基本事業	地域ブランドの強化	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	令和3年8月豪雨により被災し、事業継続計画（BCP）等を作成した県内中小企業が「佐賀県地域経済・伝統産業防災力強化支援事業費補助金」を活用して行う事業継続力強化のための取組に対して、上乘せ支援をすることにより、事業者の負担を軽減し伝統産業の保存・継承を後押しする。				
事業の対象者	「佐賀県地域経済・伝統産業防災力強化支援事業費補助金」を受給する市内伝統工芸事業者				
令和6年度 主な活動実績	名尾手すき和紙株式会社に対して、補助金の交付を行った。 ・補助金額 : 10,000,000円（補助対象経費：42,100,000円） ・交付決定 : 令和5年10月13日 ・補助金額確定 : 令和6年7月1日 ・交付 : 令和6年8月20日				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額					10,000
うち佐賀市の負担額					10,000

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
事業継続計画（BCP）の作成・実施						件
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	1	
					1	
成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）からの移転が完了し、伝統工芸を継続的に、制作・体験できる環境整備を行えた。

今後の改善策、対応策等

伝統産業の保存・継承を後押しし、その魅力と価値の認知度向上を図るため、継続的に事業者支援を行っていきたい。

令和7年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	労政情報発信事業	事業期間	平成 13 ~ 年度
担当部署・係名	経済政策課 経営支援係	担当課長名	富永 誠一
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	活力ある商工業の振興	
	基本事業	雇用の確保と労働環境の向上	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	事業主等に労働局などの関係機関から収集した労働情報を、労政だよりの送付（年2回）等の方法により積極的に提供し、各種情報の周知を図る。また、専門家による夜間労働相談（社会保険労務士）を経営相談（中小企業診断士）とともに月2回行い、事業主や勤労者の利便を図る。				
事業の対象者	事業主、労務担当者、勤労者				
令和6年度主な活動実績	各種情報を周知し、事業主や勤労者の利便を図った。 ・「労政だより」を2回（9月・1月）作成・送付（延べ配布件数7,600件） ・市報に労働に関する記事を掲載（各種情報の記事41件） ・佐賀県社会保険労務士会に委託し、労働相談を実施 夜間労働相談（第2・4水曜日）24回実施、面談での相談件数25件、メールでの相談件数2件				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	1,146	1,159	1,243	1,179	799
うち佐賀市の負担額	1,146	1,159	1,243	1,179	799

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
夜間労働相談利用件数						件
R2 実績	R3 目標	R3 実績	R4 目標	R4 実績	R5 目標	R5 実績
13	13	11	13	14	13	27

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標	R3 実績	R4 目標	R4 実績	R5 目標	R5 実績

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	委託先である佐賀県社会保険労務士会との連携により、相談者が増え、目標を達成できた。

今後の改善策、対応策等

引き続き、市報・HP等を利用し広報活動を行い、各種情報を周知し、事業主や勤労者の利便を図る。
また、労政だよりの発行方法を変更する予定。（紙2回→紙1回、電子1回）

令和7年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	勤労者福利厚生対策事業	事業期間	平成 7 ~ 年度
担当部署・係名	経済政策課 経営支援係	担当課長名	富永 誠一
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	活力ある商工業の振興	
	基本事業	雇用の確保と労働環境の向上	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	佐賀県労働者福祉協議会及び佐賀地区労働者福祉協議会、中小企業勤労者福祉サービスセンターへ負担金及び補助金を支出し、勤労者の福祉活動を推進し、福祉事業に関する事項全般についての啓発、普及、実践等により、勤労者の福祉の増進と社会保障制度の確立を図る。				
事業の対象者	佐賀地区の勤労者、中小企業勤労者福祉サービスセンターの会員及びその家族				
令和6年度 主な活動実績	勤労者の福利厚生の推進を目的に活動を行う、佐賀県労働者福祉協議会及び中小企業勤労者福祉サービスセンターへ負担金及び補助金を交付した。 ・佐賀県労働者福祉協議会に負担金支出（250千円） ・中小企業勤労者福祉サービスセンターに負担金交付（1,192千円） ※佐賀地区労働者福祉協議会は、補助金交付辞退（組織統合のため）				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	800	618	735	800	1,442
うち佐賀市の負担額	800	618	735	800	1,442

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
行事参加延べ人数						人
R2 実績	R3 目標	R3 実績	R4 目標	R4 実績	R5 目標	R5 実績
290	290	302	290	409	290	786
					R6 目標	R6 実績
					290	-

成果指標②						単位
共済給付・サービスの利用件数						件
R2 実績	R3 目標	R3 実績	R4 目標	R4 実績	R5 目標	R5 実績
4,513	4,513	4,354	4,513	4,796	4,513	5,141
					R6 目標	R6 実績
					4,513	4,692

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	加盟事業者の減少に伴い、佐賀地区労働者福祉協議会が他の地区の労働者福祉協議会と合併を行うにあたり事業の実施はしたものの、補助金交付申請がなかったため、状況の把握ができていない。

↓

今後の改善策、対応策等

引き続き、市報・HP等を利用し広報活動を行い、勤労者の福祉の増進と社会保障制度の確立を図っていく。

令和7年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	労働金庫預託事業	事業期間	昭和 40 ~ 年度
担当部署・係名	経済政策課 経営支援係	担当課長名	富永 誠一
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	活力ある商工業の振興	
	基本事業	雇用の確保と労働環境の向上	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	一定所得以下の勤労者の生活の安定を図るため、九州労働金庫が行う生活資金及び福利厚生資金の貸付原資として、九州労働金庫へ預託を行う。労働金庫の融資制度の運用資金の一部を預託することにより、原資調達負担を軽減し、利用しやすい制度とすることで、市内に居住する勤労者の生活の安定を図る。				
事業の対象者	勤労者				
令和6年度主な活動実績	一定所得以下の勤労者の生活の安定を図るため、九州労働金庫へ預託を行った。 ・九州労働金庫佐賀支店に預託（56,500千円） ・令和6年度貸付状況 458件（2,088,458千円）、年度末残高 3,433件（30,502,721千円）				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	56,500	56,500	56,500	56,500	56,500
うち佐賀市の負担額	0	0	0	0	0

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
佐賀市勤労者生活資金・福利厚生資金貸付件数						件
R2 実績	R3 目標	R3 実績	R4 目標	R4 実績	R5 目標	R6 目標
402	405	451	407	448	410	413
					436	458

成果指標②						単位
佐賀市勤労者生活資金・福利厚生資金貸付金額						千円
R2 実績	R3 目標	R3 実績	R4 目標	R4 実績	R5 目標	R6 目標
2,597,467	3,790,000	2,354,473	3,790,000	2,490,670	3,790,000	3,790,000
					1,876,629	2,088,458

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	借入の多くが少額・短期返済の案件が多い。そのため、貸付件数は目標に届いているものの、貸付金額は目標を下回っている。

今後の改善策、対応策等

九州労働金庫佐賀支店と連絡を密にとり、社会情勢等鑑みながら目標達成に向けた情報共有を行う。

令和7年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	各種商工業団体等支援事業	事業期間	昭和 40 ~ 年度
担当部署・係名	経済政策課 経営支援係	担当課長名	富永 誠一
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	活力ある商工業の振興	
	基本事業	既存商工業の経営支援	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	佐賀県商店街振興組合連合会、佐賀県たばこ販売協同組合佐賀支部などの団体が実施する研修会や支援事業等の運営費の一部を助成することにより、商工業者・各種商業団体の事業等への参画や団体活動の活性化を図る。また、大財商工振興会、県庁通り商店連盟が実施する地域交流イベント等の経費の一部を補助することにより、地域経済の活性化を図る。				
事業の対象者	市内の中小企業者				
令和6年度主な活動実績	各団体が実施する研修会や支援事業、地域交流イベント等の経費の一部を助成した。 ・佐賀県商店街振興組合連合会 ・佐賀県たばこ協同組合佐賀支部 ・職業訓練法人佐賀高等職業訓練運営会（注1） ・佐賀工業会、佐賀青年工業会（注1） ・県庁通り商店連盟、大財商工振興会（注2） 注1：令和5年度までは工業振興一般経費の一部 注2：令和5年度までは地区商店街支援事業				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	2,030	1,880	1,880	1,880	2,777
うち佐賀市の負担額	2,030	1,880	1,880	1,880	2,777

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
各種商業団体の構成員数						者
R2 実績	R3 目標	R3 実績	R4 目標	R4 実績	R5 目標	R5 実績
335	332	332	329	305	326	291

年度	目標	実績
R2	332	335
R3	329	332
R4	305	305
R5	291	291
R6	282	282

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標	R3 実績	R4 目標	R4 実績	R5 目標	R5 実績

年度	目標	実績
R2	1.0	0.8
R3	0.8	0.7
R4	0.7	0.6
R5	0.6	0.5
R6	0.5	0.4

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	佐賀県たばこ協同組合佐賀支部の会員数が大幅に減少している。事業者の高齢化や、新型コロナウイルス感染症の影響による売り上げの減少により、廃業店舗が多かったため。



今後の改善策、対応策等
各団体と連絡を密にとり、成果指標の設定と目標達成に向けた情報共有を行う。

令和7年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	商工会議所支援事業	事業期間	昭和 40 ~ 年度
担当部署・係名	経済政策課 経営支援係	担当課長名	富永 誠一
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	活力ある商工業の振興	
	基本事業	既存商工業の経営支援	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	佐賀商工会議所が小規模事業者等に対して行う、巡回指導や窓口相談指導、講習会の開催などの経営改善普及事業に対して補助を行うことにより、小規模事業者等の経営改善や業績向上、経営の安定を図る。				
事業の対象者	市内の中小企業の事業主等				
令和6年度 主な活動実績	佐賀商工会議所が行う、経営改善普及事業に対し補助金を交付した。 ・補助金2,950千円支出				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	2,950	2,950	2,950	2,950	2,950
うち佐賀市の負担額	2,950	2,950	2,950	2,950	2,950

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
商工会議所会員数						者
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
2,498	2,512 2,516	2,524 2,561	2,536 2,572	2,548 2,557		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	創業、事業継続力強化、販路拡大、事業承継支援を中心に様々な経営課題の改善ができるよう伴走型の支援を実施していることから目標が達成できた。



今後の改善策、対応策等
引き続き商工会議所との連絡を密に取り、目標達成に向けた情報共有を行う。

令和7年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	商工会支援事業	事業期間	昭和 40 ~ 年度
担当部署・係名	経済政策課 経営支援係	担当課長名	富永 誠一
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	活力ある商工業の振興	
	基本事業	既存商工業の経営支援	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	佐賀市北商工会及び佐賀市南商工会が小規模事業者等に対して行う、循環指導や窓口相談指導、講習会の開催などの経営改善普及事業及び商工業や観光等の地域総合振興事業に対して補助を行うことにより、小規模事業者の経営改善や、業績向上、経営の安定を図る。				
事業の対象者	南商工会及び北商工会地区の中小企業の事業主等				
令和6年度主な活動実績	佐賀市北商工会及び佐賀市南商工会が行う、経営改善普及事業及び地域総合振興事業に対し補助金を交付した。 ・佐賀市北商工会 ・佐賀市南商工会				
決算の推移 (単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	45,000	45,000	45,000	45,000	45,000
うち佐賀市の負担額	45,000	45,000	45,000	45,000	45,000

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
商工会会員数						者
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
1,066	1,060 1,063	1,054 1,050	1,048 1,034	1,042 1,028		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	創業、事業継続力強化、販路拡大、事業承継支援を中心に様々な経営課題の改善ができるよう伴走型の支援を実施していることから目標が概ね達成できた。



今後の改善策、対応策等
商工会との連絡を密に取り、目標達成に向けた情報共有を行う。

令和7年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	小規模事業者伴走型支援強化事業	事業期間	平成 29 ~ 年度
担当部署・係名	経済政策課 経営支援係	担当課長名	富永 誠一
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	活力ある商工業の振興	
	基本事業	既存商工業の経営支援	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	国の認定を受けた「経営発達支援計画」に基づき商工会及び商工会議所が小規模事業者等に対して行う、調査分析、販路開拓等の伴走型支援に係る経費の一部を補助することにより、小規模事業者の持続的な経営発展を図る。				
事業の対象者	市内小規模事業者				
令和6年度 主な活動実績	商工会及び商工会議所が行う事業に対し補助金を交付した。 ・佐賀商工会議所（1,404千円） ・佐賀市北商工会（1,500千円） ・佐賀市南商工会（1,500千円）				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	2,870	2,375	4,137	3,991	4,404
うち佐賀市の負担額	2,870	2,375	4,137	3,991	4,404

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
商工会議所・商工会会員数						者
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
3,564	3,572 3,579	3,578 3,611	3,584 3,606	3,590 3,585		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	創業、事業継続力強化、販路拡大、事業承継支援を中心に様々な経営課題の改善ができるよう伴走型の支援を実施していることから目標が達成できた。



今後の改善策、対応策等
商工会議所・商工会と情報を密にとり、目標達成に向けた情報交換を行う。

令和7年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	事業承継支援事業	事業期間	平成 30 ~ 令和 6 年度
担当部署・係名	経済政策課 経済政策係	担当課長名	富永 誠一
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	活力ある商工業の振興	
	基本事業	既存商工業の経営支援	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	事業者への早期取組の啓発や、事業承継に係る経費の補助等を行い、中小企業の円滑な事業承継を図る。				
事業の対象者	市内中小企業者				
令和6年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・事業承継支援事業費補助金 事業承継計画の策定やM&Aの仲介委託費等にかかる費用を助成。（令和6年度申請実績なし） 申請件数 0件、補助金交付額 0円 ・市ホームページ、労政だより及び新聞による佐賀県事業承継・引継ぎ支援センターの広報、その他関係機関への周知を行った。 				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	2,956	112	253	577	0
うち佐賀市の負担額	2,956	112	253	577	0

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
佐賀県事業承継・引継ぎ支援センター成約件数						件
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
24	26 24	29 25	31 39	35 47		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	事業の実施において、佐賀県事業承継・引継ぎ支援センターとの連携は不可欠であるため、事業者への周知を積極的に実施したい。



今後の改善策、対応策等
今後も積極的な広報により早期の取組を促すとともに、事業承継ネットワークとの連携を強化し、円滑な事業承継の推進に努める。なお、令和6年度は申請実績がなく令和7年度以降の予算措置はないが、引き続き、より効果的な支援体制の構築を図っていく。

令和7年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	産業支援プラザ管理運営事業	事業期間	令和 6 ~ 年度
担当部署・係名	経済政策課 経済政策係	担当課長名	富永 誠一
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	活力ある商工業の振興	
	基本事業	企業誘致と新産業の創出	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	i スクエアビル5階の下記施設で一体的に創業支援、新規ビジネスの創出、市内事業者の支援に取り組む。 ・IT人材育成の拠点及び新しいビジネスの創出の場としてマイクロソフトAI&イノベーションセンター（MAIC）を運営する。 ・起業家育成、新分野進出企業支援のためにインキュベートルーム（インキュベートルーム10室）を運営する。 ・地域資源の活用、農商工連携、経営相談、知的財産の活用、創業支援等に関する窓口を産業支援相談室内に設置し、市内中小・小規模事業者の事業の振興を図り、ひいては市内経済の振興を図る。				
事業の対象者	創業者、市内中小企業者				
令和6年度主な活動実績	・MAICコワーキングスペース（利用人数：2,290人） ・インキュベートルーム全10室中8室に入居（R7年3月末時点） ・市内中小企業等から地域資源の活用、農商工連携、経営及び創業支援等に関する相談を受けることにより、市内産業全体の活性化を図った。（相談件数：843件） ※令和5年度までは「新産業創出・地域産業支援事業」として実施。				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	13,436	14,070	18,554	20,234	27,640
うち佐賀市の負担額	12,994	13,516	15,913	17,207	24,117

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
産業支援相談室の相談者の新規起業数						件
R2 実績	R3 目標	R3 実績	R4 目標	R4 実績	R5 目標	R5 実績
16	17	15	18	19	20	27

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標	R3 実績	R4 目標	R4 実績	R5 目標	R5 実績

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	幅広いニーズに対応した支援を行ったことで、創業に結びつく事例が増加した。特に地域資源の活用、経営相談、創業支援などに関する実務的かつ実践的なアドバイスを提供したことにより、創業希望者の課題解決や意欲の向上につながり、創業者数の増加に寄与した。

今後の改善策、対応策等

引き続き、産業支援プラザの機能や相談室の支援内容について積極的に周知を図り、創業希望者や市内事業者への支援体制の認知度向上に努める。

令和7年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	産業人材確保推進事業	事業期間	平成 30 ~ 年度
担当部署・係名	経済政策課 経済政策係	担当課長名	富永 誠一
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	活力ある商工業の振興	
	基本事業	企業誘致と新産業の創出	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	専門家による個別コンサルティングを実施し、経営課題の掘り起こしや整理のうえ、生産性向上や労務管理改善に向けた環境整備等の支援を行い、仕事や職場の魅力向上に繋げて事業者の人材確保を図る。				
事業の対象者	市内中小企業				
令和6年度 主な活動実績	【中小企業人材確保支援事業費補助金】 補助金交付件数：21件 中小企業者における採用実績：39人 【中小企業魅力向上事業】(R6から本事業に移行) コンサル件数：10社(52回) 改善件数：19件(賃金増7件、休日取得増5件、定着率向上7件) ※地域雇用活性化推進事業はR5で終了。学生×IT企業交流会は企業立地課で実施。				
決算の推移(単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	11,547	11,446	9,331	9,513	12,111
うち佐賀市の負担額	5,648	5,723	6,178	6,360	9,610

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
中小企業者における採用実績						人
R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	目標	実績
3	25	32	33	39	3	39

成果指標②						単位
処遇改善件数						件
R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	目標	実績
14	8	14	10	19	15	19

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	中小企業人材確保支援事業費補助金：佐賀新聞掲載等により、広報効果向上。 中小企業魅力向上事業：概ね目標を達成しているが、今後も継続的に取り組むべき課題となっている企業が多い。

今後の改善策、対応策等

【中小企業人材確保支援事業】R7から採用業務のアウトソーシング、従業員定着のための現状分析や制度改正などの補助対象事業を追加。
【中小企業魅力向上事業】継続的なフォローや追跡調査を必要に応じて行う。R7から産業支援プラザ管理運営事業に統合。

令和7年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	起業家育成支援事業	事業期間	平成 24 ~ 年度
担当部署・係名	経済政策課 経済政策係	担当課長名	富永 誠一
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	活力ある商工業の振興	
	基本事業	企業誘致と新産業の創出	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	大学生、大学院生、社会人を対象とした起業家育成セミナーを開催し、市内での創業推進に向けた起業家育成を図る。				
事業の対象者	市内大学生、市内中小企業者				
令和6年度 主な活動実績	○セミナー、講座の開催校・開催数 ・社会人向けビジネススクールの開催 計10回 ・起業家マインドを学ぶ講座を佐賀大学、佐賀女子短期大学などで開催 計78回 ※企業版ふるさと応援寄附金130万円を充当。 ※創業支援セミナーは、令和6年度から産業支援プラザ管理運営事業で実施。				
決算の推移 (単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	4,939	4,402	4,402	4,520	3,000
うち佐賀市の負担額	4,939	4,402	4,402	4,520	1,700

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
起業のために必要な考え方を学んだ生徒 (ビジネススクール参加者数)						人
R2 実績	R3 目標	R3 実績	R4 目標	R4 実績	R5 目標	R5 実績
93	100	99	110	124	120	91
					130	193
成果指標②						単位
						人
R2 実績	R3 目標	R3 実績	R4 目標	R4 実績	R5 目標	R5 実績

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	SNS等による効果的な広報を実施したことで、目標を達成できた。



今後の改善策、対応策等
令和7年度から産業人材育成事業のCREATIVE LINK SAGAと連動し、より効果的に事業を実施する。

令和7年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	創業資金支援事業	事業期間	平成 28 ~ 年度
担当部署・係名	経済政策課 経済政策係	担当課長名	富永 誠一
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	活力ある商工業の振興	
	基本事業	企業誘致と新産業の創出	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	市内の起業家・事業者を支援することを目的として、日本政策金融公庫及び地域金融機関と地域産業の発展・活性化に関する連携協定を締結。金融機関が実施する創業支援のための事業資金の融資を受け、市内で事業を行う者に対し、補助金を交付し、創業時の負担軽減と経営の安定化を図る。				
事業の対象者	市内創業者				
令和6年度主な活動実績	創業のための資金として、無担保・無保証の融資を受ける際に係る利子相当分に対し補助金を交付した。 (補助件数：9件)				
決算の推移 (単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	480	596	414	592	304
うち佐賀市の負担額	480	596	414	592	304

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
補助件数 (創業資金)						件
R2 実績	R3 目標	R4 目標	R5 目標	R6 目標	実績	
8	9	10	11	12	8	
	8	8	8	9		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標	R4 目標	R5 目標	R6 目標	実績	

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	一部の事業者で廃業が確認されるなどの事例はあったものの、周知や広報により、申請に結びついたケースも見られ、創業支援の観点からは一定の成果が得られた。

今後の改善策、対応策等

- ・令和7年度も引き続き、出張公庫やゆる座談会で相談機会を作るなど、金融機関や創業支援機関との連携による創業補助金の活用を増やす仕組みを構築する。
- ・未申請を減らせるように新規対象者や既登録者への早めの周知に努める。

令和7年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	販路開拓支援事業	事業期間	令和 6 ~ 年度
担当部署・係名	経済政策課 経営支援係	担当課長名	富永 誠一
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	活力ある商工業の振興	
	基本事業	既存商工業の経営支援	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	市内で生産、製造された優れた産品（農林水産物、工業製品、商業製品等）を国内に売り込むための流通ルートの開拓を進めることにより、市内事業者の収益向上、ひいては地域経済の発展を図る。そのために、「都市圏のバイヤー等人的ネットワークの形成」「バイヤーの産地訪問支援」「物産販売協力店の支援」等に取り組み、市産品の新規販路開拓を目的とした事業を展開する。				
事業の対象者	市内事業者				
令和6年度主な活動実績	都市圏に向けた地場産品の販路開拓を図るため、流通関係者と市内事業者の商談機会を創出するとともに、都市圏において佐賀産品を常設で取り扱っている物産販売協力店等を活用したイベントを実施することで、地場産品の販売を促進した。 令和5年度までは「流通促進事業」として実施し、令和6年度から「物産販売協力店拡大事業」と「ふるさと名物応援強化事業」を事業統合。				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	26,232	21,280	19,120	18,557	28,821
うち佐賀市の負担額	26,232	21,280	19,120	18,557	28,821

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
商談成立件数						件
R2 実績	R3 目標	R3 実績	R4 目標	R4 実績	R5 目標	R5 実績
68	35	18	35	26	35	31

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標	R3 実績	R4 目標	R4 実績	R5 目標	R5 実績

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	流通関係者と市内事業者の商談機会を創出し、前年度を超える商談成立に結びつけることができている。

今後の改善策、対応策等

事業委託先である佐賀市観光協会との連携を強化し、流通関係者のニーズを注視しながら市内事業者の販路開拓に向けた取り組みを進めていく。

令和7年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	「地域ブランド商品」振興事業	事業期間	平成 16 ~ 年度
担当部署・係名	経済政策課 経営支援係	担当課長名	富永 誠一
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	活力ある商工業の振興	
	基本事業	地域ブランドの強化	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	市内地場産品の商品力及び販売力向上のために、流通関係者との商談やアドバイスを受ける機会を創出するとともに、地場産品の新たな商品開発や販路拡大等の取組に要する経費の一部を助成し、地場産品の振興を図る。				
事業の対象者	市内事業者				
令和6年度主な活動実績	市内地場産品の商品力及び販売力向上のため商談会を開催し、流通関係者との商談やアドバイスを受ける機会を創出した。また、新たな商品開発や販路拡大等の取組に要する経費の一部を助成した。 ・佐賀ものづくり商談会の開催（参加事業者数20事業者、参加バイヤー数19人） ・新商品開発等や知的財産権の取得に要する経費の補助（補助実績13件）				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	835	1,538	5,271	3,691	3,457
うち佐賀市の負担額	835	1,538	5,271	3,691	3,457

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
商談成立件数						件
R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	目標	実績
5	5	4	3	4	5	3

成果指標②						単位
R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	目標	実績

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	20事業者が参加し、バイヤーについても前年度を超える数を招へいでき、商談の機会を創出した。



今後の改善策、対応策等
市場ニーズの動向と地場産品の特長や課題を踏まえ、流通関係者との効果的なマッチングの機会を創出する。新商品開発等や知的財産権の取得にかかる費用の一部を助成することで、地場産品のブラッシュアップを図る。

令和7年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	諸富家具団体等支援事業	事業期間	昭和 40 ~ 年度
担当部署・係名	経済政策課 経営支援係	担当課長名	富永 誠一
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	活力ある商工業の振興	
	基本事業	地域ブランドの強化	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	伝統的地場産品である諸富家具産業の振興を図るため、中小企業が相互協力し発展するために組織された団体に対して支援を行う。これにより、諸富家具の新商品開発やブランド価値向上、国内及び海外の販路開拓を促進し、事業の振興を図る。				
事業の対象者	諸富家具振興協同組合				
令和6年度主な活動実績	伝統的地場産品の指定を受けている諸富家具振興協同組合に対し補助金を交付した。 交付額 団体支援 2,000,000円 海外展開事業 1,639,774円				
決算の推移 (単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	3,732	4,934	3,812	3,640	3,756
うち佐賀市の負担額	3,732	4,934	3,812	3,640	3,756

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
諸富家具組合会員の輸出額						千円
R2 実績	R3 目標	R4 目標	R5 目標	R6 目標		
56,200	60,000	65,000	70,000	75,000		
	300,925	342,700	314,533	326,130		

年度	目標	実績
R2	75,000	56,200
R3	60,000	300,925
R4	65,000	342,700
R5	70,000	314,533
R6	75,000	326,130

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標	R4 目標	R5 目標	R6 目標		

年度	目標	実績
R2	0.5	0.5
R3	0.5	0.5
R4	0.5	0.5
R5	0.5	0.5
R6	0.5	0.5

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	海外輸出額が増加傾向にある。しかし、海外展開事業を実施する加盟事業者が限定される傾向にある。



今後の改善策、対応策等
<ul style="list-style-type: none"> 各企業の現状把握、ニーズの掘り起こしに努め、振興組合としての適切な支援策が講じられるように連携を行っていく。 海外展開支援事業に取り組んだ加盟事業者が、実際販路の開拓に繋がったか注視していく必要がある。

令和7年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	佐賀錦振興事業	事業期間	平成 10 ~ 年度
担当部署・係名	経済政策課 経営支援係	担当課長名	富永 誠一
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	活力ある商工業の振興	
	基本事業	地域ブランドの強化	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	佐賀県指定伝統的地場産品である佐賀錦の手織り技術の伝承及びブランドとしての知名度向上のため、佐賀錦の手織りの実演や体験指導を行い、情報発信と後継者の育成を図る。				
事業の対象者	佐賀錦振興協議会、市民				
令和6年度主な活動実績	佐賀錦の手織り技術の伝承及びブランドとしての知名度向上並びに作品の展示等による佐賀錦の情報発信を図った。 ・佐賀市歴史民俗館内における佐賀錦手織りの実演と体験指導の実施 (製作実演見学者数：1,920人、製作体験者数：106人)				
決算の推移 (単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	2,441	2,718	2,537	2,464	2,464
うち佐賀市の負担額	2,441	2,718	2,537	2,464	2,464

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
後継者育成数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
3	8 11	8 14	8 7	8 10		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	目標値の8を超える10人の後継者育成を行ったため、目標を達成している。



今後の改善策、対応策等
商品開発の支援及び各種広報媒体を活用した知名度向上に取り組むとともに、引き続き手織りの実演と体験指導を実施することで新規後継者を確保する。

令和7年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	売茶翁情報発信事業	事業期間	平成 26 ~ 年度
担当部署・係名	経済政策課 経営支援係	担当課長名	富永 誠一
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	活力ある商工業の振興	
	基本事業	地域ブランドの強化	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	本市出身で煎茶の祖とされる高遊外売茶翁の情報を発信し、併せてイベントを開催することにより、市民及び観光客への浸透と来街促進を図る。				
事業の対象者	一般市民、観光客				
令和6年度 主な活動実績	高遊外売茶翁の情報を発信し、併せてイベントを開催することにより、市民及び観光客への浸透と来街促進を図った。 ・イベント参加者数 1,050人				
決算の推移 (単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
うち佐賀市の負担額	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
イベント参加者数						人
R2 実績	R3 目標	R3 実績	R4 目標	R4 実績	R5 目標	R5 実績
880	900	559	950	381	1,000	8,745
					1,050	1,050

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標	R3 実績	R4 目標	R4 実績	R5 目標	R5 実績

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	令和5年度よりも総参加者数が少なくなったが、イベント開催時には定員を上回る応募があるなど、高遊外売茶翁の認知度は年々浸透しており、参加者は増加している。



今後の改善策、対応策等
高遊外売茶翁の情報発信を引き続き行うとともに、イベントの開催や講演会を行うことにより高遊外売茶翁のブランド力を高める機会を創出し、市内外へ広めることで観光客の誘客、街の賑わいづくりを促進していく。

令和7年度 事務事業進捗報告シート

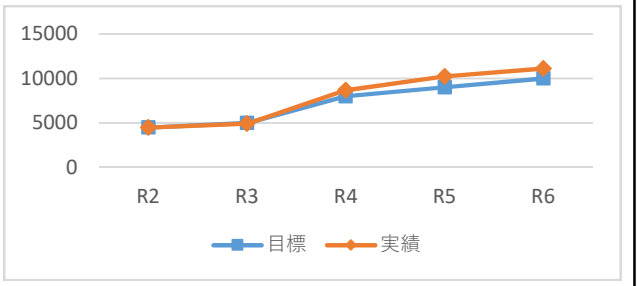
事務事業名	地場産品交流会館管理事業	事業期間	平成 22 ~ 年度
担当部署・係名	経済政策課 経営支援係	担当課長名	富永 誠一
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	活力ある商工業の振興	
	基本事業	地域ブランドの強化	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	人々に憩いと交流の場を提供するとともに、地場産品の販売及び普及を促進し、地場産業の振興を図る。				
事業の対象者	一般市民、観光客				
令和6年度 主な活動実績	施設の適正な管理を行うとともに、地場産品の販売及び普及を促進し、地場産業の振興を図った。 ・会館日数 297日 ・利用者数 11,105人				
決算の推移 (単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	5,058	4,850	8,370	12,728	5,688
うち佐賀市の負担額	4,949	4,718	6,486	8,763	5,549

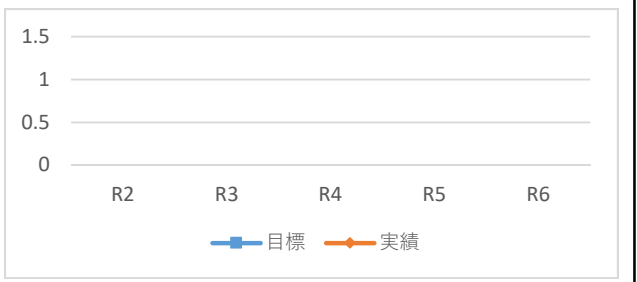
2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
地場産品交流会館来館者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
4,474	5,000 4,921	8,000 8,680	9,000 10,225	10,000 11,105		



年度	目標	実績
R2	4,474	4,474
R3	5,000	4,921
R4	8,000	8,680
R5	9,000	10,225
R6	10,000	11,105

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		



年度	目標	実績
R2	0	0
R3	0	0
R4	0	0
R5	0	0
R6	0	0

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	インバウンド客を含む来館者数が増加しており、直近3過年度において、いずれも目標値を越えている。



今後の改善策、対応策等
引き続き、定期的にイベント等を開催することにより、来館者を増やし、施設・地場産品の認知度を高める。 また、周辺施設と連携し、市民や観光客の周遊を促進することで、地場産品の情報発信効果を高めていく。

令和7年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	産業振興会館管理事業	事業期間	平成 2 ~ 年度
担当部署・係名	経済政策課 経営支援係	担当課長名	富永 誠一
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	活力ある商工業の振興	
	基本事業	既存商工業の経営支援	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	地場産業の振興及び住民福祉の向上の拠点として、各産業団体（農協・漁協・商工会・家具振興組合）や市内企業、住民等に対して会議、研修等への場所の提供をするともに、会館の管理を行う。				
事業の対象者	市内産業団体、市内事業所等、一般市民等（市内及び市外）				
令和6年度主な活動実績	施設の適正な管理を行った。 ・施設の管理運営業務の委託 ・日常清掃や樹木管理等の委託				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	8,198	5,776	2,391	7,378	11,699
うち佐賀市の負担額	5,927	4,556	2,091	5,595	9,856

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
産業振興会館利用者数						人
R2 実績	R3 目標	R3 実績	R4 目標	R4 実績	R5 目標	R6 目標
8,540	4,270	3,318	2,135	1,147	8,500	8,500
					7,694	8,903

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標	R3 実績	R4 目標	R4 実績	R5 目標	R6 目標

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	令和5年2月から貸館業務を再開し、HP掲載等により、周知をおこなってきた結果、利用者数において改修前の水準に到達することができた。 利便性の点から、地域住民、団体、企業等の利用が多い。

↓

今後の改善策、対応策等

地場産業の振興及び住民福祉の向上という利用目的があり、市外事業者の利用に制限があること、また今年度新諸富公民館が完成し、産業振興会館を利用していた地域団体が新公民館を利用することも想定されるが、当館の目的を達成するよう、HP等に掲載し、利用が広がるよう努めたい。

令和7年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	中小企業振興資金貸付事業	事業期間	昭和 55 ~ 年度
担当部署・係名	経済政策課 経営支援係	担当課長名	富永 誠一
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	活力ある商工業の振興	
	基本事業	既存商工業の経営支援	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	融資を受ける中小企業の負担を軽減するため、市内の11金融機関に融資資金を預託するとともに、佐賀市中小企業振興資金の貸付に係る信用保証料を全額補給することにより、市内中小企業に対する資金供給の円滑化を図る。				
事業の対象者	市内で6ヶ月以上継続して同一の事業を営み、市税を完納している中小企業者等				
令和6年度主な活動実績	市内中小企業に対する資金供給を円滑にするため、市内の11金融機関に融資資金を預託した。 融資取扱金融機関 佐賀銀行・佐賀共栄銀行・佐賀信用金庫・西日本シティ銀行・十八親和銀行・ 商工組合中央金庫・佐賀東信用組合・福岡銀行・長崎銀行・横浜幸銀信用組合・ 大川信用金庫 令和6年度貸付状況 373件（1,504,110千円）、年度末残高 974件（2,722,818千円）				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	670,000	679,918	694,709	704,205	706,079
うち佐賀市の負担額	0	9,918	24,709	34,205	36,079

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
融資貸付額						千円
R2 実績	R3 目標	R3 実績	R4 目標	R4 実績	R5 目標	R5 実績
323,335	1,407,000	628,940	1,407,000	864,228	1,407,000	1,504,110

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標	R3 実績	R4 目標	R4 実績	R5 目標	R5 実績

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	新型コロナ特別資金が終了し、多くの事業者が元金返済の対応に追われるなか、物価やエネルギー高騰等もあり、資金繰り対策として需要回復の傾向にある。



今後の改善策、対応策等
引き続き商工団体・金融機関と連携するとともに、市報・HP等を利用し広報活動を行う。

令和7年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	商工中金預託事業	事業期間	昭和 40 ~ 令和 6 年度
担当部署・係名	経済政策課 経営支援係	担当課長名	富永 誠一
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	活力ある商工業の振興	
	基本事業	既存商工業の経営支援	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	商工組合中央金庫佐賀支店に融資資金を預託することにより、市内の中小企業団体及び組合員に対する資金供給の円滑化を図る。				
事業の対象者	中小企業団体及びその組合員				
令和6年度 主な活動実績	市内中小企業団体及び組合員に対する資金供給を円滑にするため、商工組合中央金庫佐賀支店に預託した。 ・預託金額（200,000千円） ・令和6年度貸付状況 167件（34,827,000千円）、年度末残高 125件（11,823,000千円）				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000
うち佐賀市の負担額	0	0	0	0	0

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
融資貸付額						百万円
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
44,502	36,000 41,641	36,000 41,839	36,000 41,449	36,000 34,827		

年度	目標	実績
R2	36,000	44,502
R3	36,000	41,641
R4	36,000	41,839
R5	36,000	41,449
R6	36,000	34,827

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

年度	目標	実績
R2	0.0	0.0
R3	0.0	0.0
R4	0.0	0.0
R5	0.0	0.0
R6	0.0	0.0

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	景況感の停滞により、中小企業団体及びその組合員の資金需要が減少したため、昨年度実績を下回った。



今後の改善策、対応策等
令和7年4月の商工中金民営化に伴い、令和7年度から本事業は廃止する。

令和7年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	同和金融対策事業	事業期間	昭和 46 ~ 年度
担当部署・係名	経済政策課 経営支援係	担当課長名	富永 誠一
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	活力ある商工業の振興	
	基本事業	雇用の確保と労働環境の向上	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	同和地区中小企業振興資金として設備資金や運転資金を貸し付けた中小企業者等（債務者）からの償還金を受け入れ、同額を市の債権者である県へ償還する。また、償還の円滑化を図るため、関係団体の協力を得て債務者の事業実態等を把握し、今後の債務管理について対応を検討するとともに、償還指導を行う。				
事業の対象者	同和地区中小企業振興資金の借入企業				
令和6年度主な活動実績	債務者からの償還金を受入れ、同額を県へ償還した。併せて債務者の事業実態等を把握し、今後の債務管理について対応を検討するとともに、償還指導を行った。 ・債務者から償還金を受け、同額を県に償還 907千円 ・債務者に対するヒアリング等を実施 年2回 ・償還指導等を行った関係団体へ補助金の交付 3団体、交付額合計312千円				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	3,382	1,897	1,458	1,368	1,351
うち佐賀市の負担額	0	0	0	0	0

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
償還金額						千円
R2 実績	R3 目標	R3 実績	R4 目標	R4 実績	R5 目標	R5 実績
2,866	1,500	1,453	1,500	1,014	1,500	924
						907

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標	R3 実績	R4 目標	R4 実績	R5 目標	R5 実績

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	定期ヒアリング等で債務者の状況を把握し、返済を促しているが、廃業や債務者の高齢化により、返済が困難な場合もある。

↓

今後の改善策、対応策等

引き続き県と連携し、債務者と定期的なヒアリングを実施して状況の把握に努め、債権回収等を進める。

令和7年度 公共事業進捗報告シート

公共事業名	佐賀駅周辺整備事業		事業期間	令和 1 ~ 令和 6 年度
担当部署・係名	経済政策課 経営支援係		担当課長名	富永 誠一
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち		
	施策	賑わいあふれる中心市街地の活性化		
	基本事業	街なか再生の基盤整備		

1 公共事業の基本情報

整備概要	北口駅前広場、南口駅前広場及び市道三溝線沿道におけるポケットパーク等の整備を実施。当初、令和元年度から令和5年度までの計画であったが、ポケットパーク等の整備期間の延長により令和6年度まで実施。また、ポケットパーク等の整備工事の増工により総事業費に変更が生じた。				
整備の目的	まちの玄関口である佐賀駅周辺の魅力向上を図るとともに、街の南北軸（SAGAサンライズパーク～佐賀駅周辺～中心市街地）を強化し、中心市街地全体の賑わい創出につなげることを目指す。				
事業費決算（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
工事請負費		63,687	396,580	303,327	40,958
測量・監理等委託料	18,597	43,702	14,701	2,698	15,092
用地購入費			34,083		
補償費			1,126		
その他事務費等					
計	18,597	107,389	446,490	306,025	56,050
うち佐賀市の負担	558	4,564	60,073	49,844	10,080
区分	R6年度	年度	年度	年度	合計
工事請負費	33,149				837,701
測量・監理等委託料	825				95,615
用地購入費					34,083
補償費					1,126
その他事務費等					
計	33,974				968,525
うち佐賀市の負担	4,444				129,563

2 事業の進捗率

R1	目標	実績	R2	目標	実績	R3	目標	実績	R4	目標	実績	R5	目標	実績	R6	目標	実績	目標	実績	目標	実績
	6.0%	2.1%		56.0%	14.0%		77.0%	63.4%		97.0%	97.3%		96.5%	96.5%		100.0%	100.0%				

